

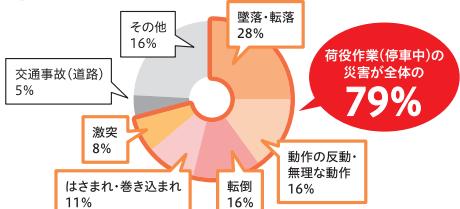
労働災害の約8割は、停車時に発生



停車中の危険は、すぐ側に

テールゲートリフター篇

陸上貨物運送事業における労働災害は、79%が「車両停車中」に発生しています。また、荷役の負担軽減や時間短縮をサポートするはずの「テールゲートリフター（TGL）使用時」においても、労働災害は発生。とりわけ、TGLでよく取り扱われている「ロールボックスパレット（カゴ車）」は、重く倒れやすいため「下敷き」などの重篤な災害につながる場合もあります。しっかりと防止対策を取り組んでいきましょう。



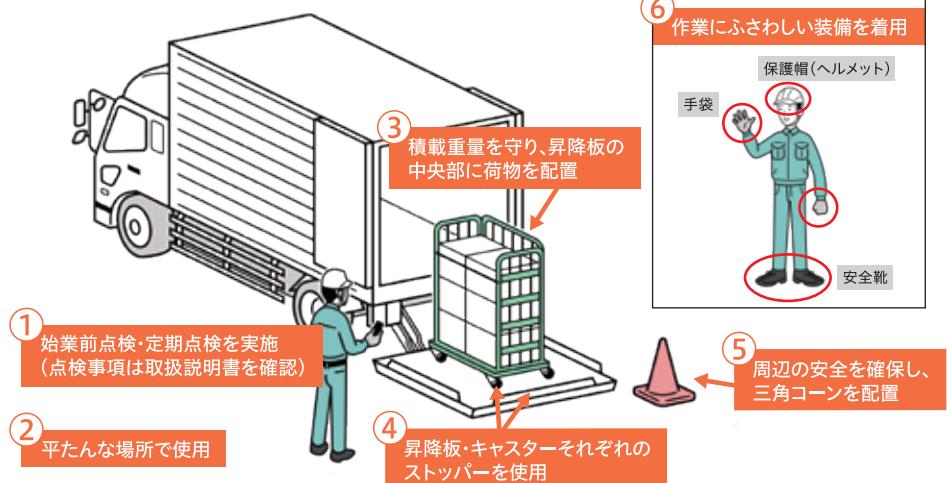
荷役作業(停車中の
災害が全体の
79%)

陸上貨物運送事業における死傷災害発生状況(平成31年/令和元年)

テールゲートリフター使用時の主な災害例



守るべき「6つの基本ルール」



① 始業前点検・定期点検を実施
(点検事項は取扱説明書を確認)

② 平たんな場所で使用

④ 昇降板・キャスターそれぞれの
ストップバーを使用

③ 積載重量を守り、昇降板の
中央部に荷物を配置

⑥ 作業にふさわしい装備を着用

保護帽(ヘルメット)

手袋

安全靴

⑤ 周辺の安全を確保し、
三角コーンを配置

出典：厚生労働省「平成31年/令和元年労働災害発生状況の分析等」「テールゲートリフターを安全に使用するために2ステップで学ぶ6基本&11場面別ルール」